



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社 アドバネクス

上場取引所 東

コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 恒雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者 (氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,517	△33.7	492	△36.0	491	△38.7	337	△42.8
27年3月期第3四半期	21,904	7.3	769	17.4	801	14.0	589	△4.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 167百万円 (△92.1%) 27年3月期第3四半期 2,120百万円 (54.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	82.42	81.81
27年3月期第3四半期	142.46	141.59

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	17,256	6,987	40.3	1,701.57
27年3月期	16,554	7,032	42.3	1,692.93

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,950百万円 27年3月期 7,002百万円

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。平成28年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	19,200	△34.9	600	△44.5	600	△39.6	480	△10.3
								117.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。平成28年3月期通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	4,153,370 株	27年3月期	4,153,370 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	68,691 株	27年3月期	16,816 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	4,097,028 株	27年3月期3Q	4,141,466 株

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、海外では、中国を中心とした新興国経済の失速、原油の大幅下落、中東における地政学的リスクの高まりなど不安定要素が増してきましたが、米国及び欧州は好調だったことから、全体的には底堅い推移となりました。国内では、新興国減速の影響を受けるなど、景気回復は緩やかなものとなりました。当社が関連する分野では、自動車市場は、国内及び中国を含むアジアでは先行き不透明な状態が続いておりますが、北米と欧州では堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に平成27年3月31日に第一化成ホールディングス株式会社の全株式を売却しプラスチック事業の大部分が連結対象から除外されたことにより、前年同四半期比33.7%減の145億17百万円となり、営業利益も同様の理由により、前年同四半期比36.0%減の4億92百万円となりました。経常利益は、前年同四半期比38.7%減の4億91百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比42.8%減の3億37百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、プラスチック事業は、平成27年3月31日の第一化成ホールディングス株式会社の全株式売却によって重要性が低下したため、第1四半期連結累計期間より精密ばね事業に統合いたしました。一方、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、第1四半期連結累計期間より所在地別セグメントを報告セグメントとすることにいたしました。

なお、前年同四半期との比較は、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントのベースで行っております。

〔日本〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったほか、OA機器向けの減少ならびに固定費が増加したことなどにより、売上高は前年同四半期比42.7%減の57億15百万円、セグメント損失は2億68百万円となりました。

〔米州〕

自動車向けが好調に推移したほか、インフラ向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比25.0%増の16億5百万円、セグメント利益は同81.1%増の47百万円となりました。

〔欧州〕

医療向けが高水準を維持したほか、航空機向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比17.5%増の17億57百万円、セグメント利益は同25.3%増の2億19百万円となりました。

〔アジア〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったことにより、売上高は前年同四半期比40.6%減の54億38百万円、セグメント利益は同16.0%減の5億4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億1百万円増加し、172億56百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が2億64百万円減少し、100億40百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が58百万円、受取手形及び売掛金が2億33百万円及び棚卸資産が34百万円それぞれ減少したことによりです。また、固定資産合計額は9億66百万円増加し72億16百万円となりました。設備投資の増加により有形固定資産が8億11百万円増加し、無形固定資産が38百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は102億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億46百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が1億69百万円減少しましたが、借入金が10億69百万円増加したことによりです。

純資産の部においては、純資産合計額が69億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少しました。

主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億37百万円発生しましたが、円高により為替換算調整勘定が2億4百万円減少したこと及び自己株式の取得等により93百万円発生したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表しました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,433	3,427,062
受取手形及び売掛金	4,474,470	4,241,289
商品及び製品	1,062,636	1,039,841
仕掛品	429,068	449,232
原材料及び貯蔵品	667,793	635,444
繰延税金資産	3,618	—
その他	194,548	259,100
貸倒引当金	△12,751	△11,869
流動資産合計	10,304,818	10,040,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,105,555	1,022,953
機械装置及び運搬具(純額)	2,104,815	2,093,178
土地	1,015,779	1,032,430
その他(純額)	922,225	1,811,478
有形固定資産合計	5,148,376	5,960,040
無形固定資産	238,265	276,937
投資その他の資産	863,299	979,023
固定資産合計	6,249,941	7,216,002
資産合計	16,554,760	17,256,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,514,598	2,345,097
短期借入金	641,629	1,269,979
1年内返済予定の長期借入金	1,041,421	1,253,318
未払法人税等	135,626	122,933
賞与引当金	143,069	83,185
災害損失引当金	105,000	104,506
その他	1,038,467	1,037,546
流動負債合計	5,619,813	6,216,567
固定負債		
長期借入金	2,255,918	2,485,636
繰延税金負債	158,395	197,114
環境対策引当金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	1,255,778	1,200,044
資産除去債務	39,145	39,181
その他	189,953	126,734
固定負債合計	3,902,191	4,051,710
負債合計	9,522,004	10,268,277

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,811	256,717
利益剰余金	5,241,616	5,452,665
自己株式	△24,941	△118,155
株主資本合計	6,473,486	6,591,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,814	140,210
為替換算調整勘定	570,381	366,357
退職給付に係る調整累計額	△166,805	△147,446
その他の包括利益累計額合計	529,389	359,121
新株予約権	29,879	37,477
純資産合計	7,032,755	6,987,825
負債純資産合計	16,554,760	17,256,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,904,814	14,517,298
売上原価	16,986,441	10,603,457
売上総利益	4,918,373	3,913,840
販売費及び一般管理費	4,148,923	3,421,557
営業利益	769,450	492,283
営業外収益		
受取利息	14,369	12,993
受取配当金	3,275	4,521
受取賃貸料	95,367	60,742
為替差益	236,671	—
その他	84,226	32,658
営業外収益合計	433,911	110,915
営業外費用		
支払利息	116,548	40,185
持分法による投資損失	172,173	—
為替差損	—	39,629
その他	112,748	31,515
営業外費用合計	401,470	111,330
経常利益	801,890	491,869
特別利益		
固定資産売却益	973	3,850
関係会社株式売却益	154,623	—
その他	20	—
特別利益合計	155,617	3,850
特別損失		
固定資産売却損	1,585	824
固定資産処分損	3,570	3,851
投資有価証券売却損	—	8
関係会社整理損失引当金繰入額	182	7,420
事業再編損	37,050	—
特別損失合計	42,388	12,103
税金等調整前四半期純利益	915,119	483,616
法人税、住民税及び事業税	184,390	136,320
法人税等調整額	7,972	9,623
法人税等合計	192,362	145,943
四半期純利益	722,756	337,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	132,769	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	589,987	337,672

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	722,756	337,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,586	14,395
為替換算調整勘定	1,109,136	△204,023
退職給付に係る調整額	229,316	19,359
持分法適用会社に対する持分相当額	16,812	—
その他の包括利益合計	1,397,851	△170,268
四半期包括利益	2,120,608	167,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,878,563	167,404
非支配株主に係る四半期包括利益	242,044	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,966,573	1,284,861	1,495,271	9,158,108	21,904,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	743,320	—	26,731	617,170	1,387,222
計	10,709,893	1,284,861	1,522,003	9,775,278	23,292,037
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△50,662	26,351	175,585	600,695	751,970

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	751,970
セグメント間取引消去	17,479
四半期連結損益計算書の営業利益	769,450

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,715,633	1,605,457	1,757,482	5,438,724	14,517,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	401,668	—	37,483	147,671	586,822
計	6,117,302	1,605,457	1,794,965	5,586,395	15,104,121
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△268,618	47,723	219,946	504,298	503,350

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	503,350
セグメント間取引消去	△11,067
四半期連結損益計算書の営業利益	492,283

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載するセグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業で記載していましたが、主として、プラスチック事業を行っていた当社の子会社第一化成ホールディングス株式会社の全株式を平成27年3月31日に売却したことにより、プラスチック事業としての重要性が低下しました。一方、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成しております。